

秋 田 県 内 中 小 企 業 景 況 調 査 結 果

(2022 年 4～6 月期)

秋田県商工会議所連合会

〈内容〉

I . 全産業の項目別DI値

II . 産業別DI値

III . 地域別DI値

IV . 産業別設備投資

V . 地域別設備投資

VI . 経営上の問題点

VII . 付帯調査

VIII . 総括表

※ 景気判断・DI値とは、「増加」・「好転」・「過剰」したとする企業割合から「減少」・「悪化」・「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。
(▲:マイナス)

《参考》県内景況調査に対する各企業のコメント 一覧

〈回収状況〉

業 種	対象企業数	有効回答企業数
建設業	40	35 (87.5%)
製造業	40	31 (77.5%)
卸売業	40	31 (77.5%)
小売業	40	32 (80.0%)
サービス業	40	30 (75.0%)
合 計	200	159 (79.5%)

地 域	対象企業数	有効回答企業数
県 北	50	34 (68.0%)
県 央	75	65 (86.7%)
県 南	75	60 (80.0%)

I. 全産業の項目別DI値

1. 業況

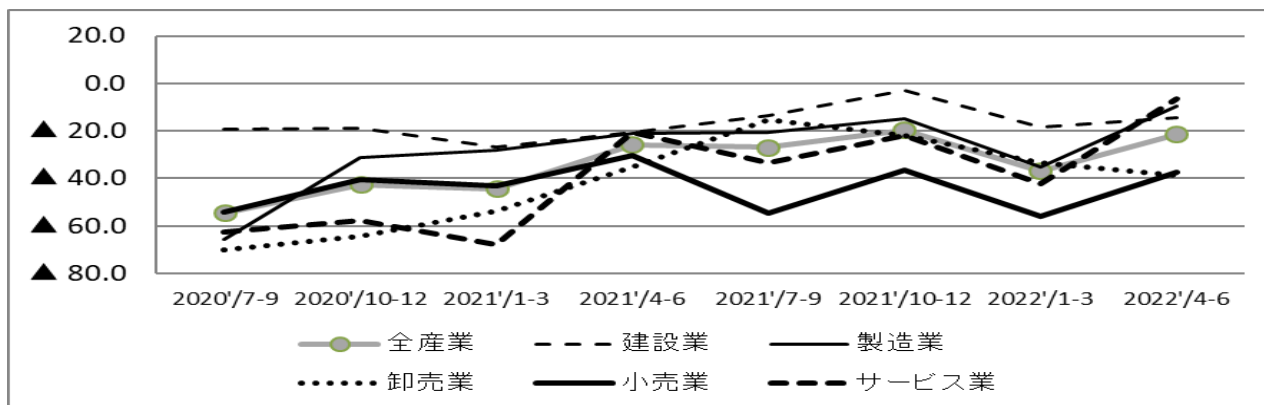
今期(4～6月)の業況DI値は、全産業で▲21.4と前期比で大幅に改善した。

産業別では、サービス業、製造業、小売業、建設業が改善した。特にサービス業、製造業はそれぞれプラス35.7ポイント、プラス25.7ポイントと大幅に改善した。一方、卸売業は悪化した。

来期の見通し(7～9月)は、全産業で▲21.7と今期比でわずかながら悪化を見通している。

産業別では、サービス業、卸売業、小売業が悪化を見通す一方、建設業、製造業は改善を見通している。

	前期(1-3月)		(C)	今期(4-6月)		
	(A)	来期見通 (4～6月)		前期比	来期見通(7～9月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
全産業	▲ 36.8	▲ 31.1	▲ 21.4	15.4	▲ 21.7	-0.3
建設業	▲ 18.4	▲ 15.8	▲ 14.3	4.1	▲ 5.9	8.4
製造業	▲ 35.4	▲ 16.1	▲ 9.7	25.7	▲ 3.2	6.5
卸売業	▲ 33.3	▲ 46.7	▲ 38.7	-5.4	▲ 45.1	-6.4
小売業	▲ 55.9	▲ 42.8	▲ 37.5	18.4	▲ 40.6	-3.1
サービス業	▲ 42.4	▲ 36.4	▲ 6.7	35.7	▲ 13.8	-7.1



2. 売上額・完成工事額

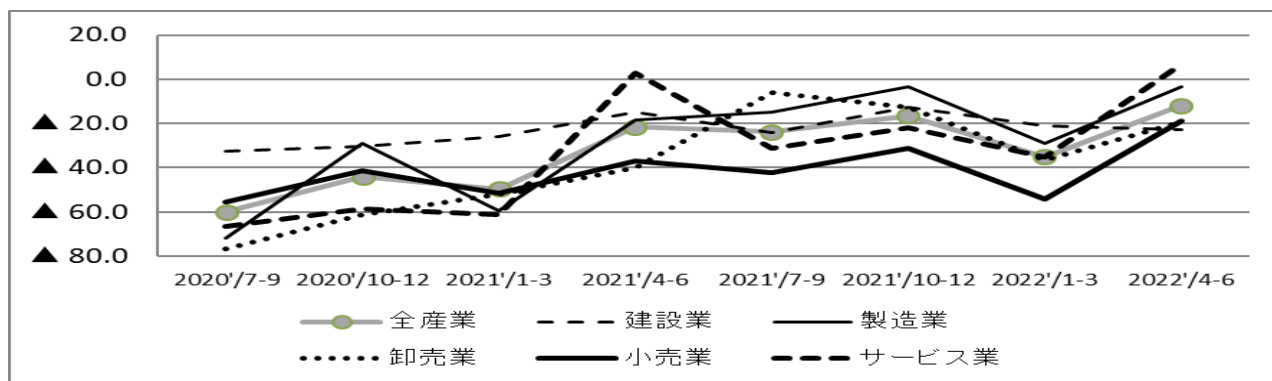
今期(4～6月)の売上額・完成工事額DI値は、全産業で▲11.9と前期比で大幅に改善した。

産業別では、サービス業、小売業、製造業、卸売業が改善した。特にサービス業、小売業、製造業はそれぞれプラス42.0ポイント、プラス35.5ポイント、プラス25.8ポイントと大幅に改善した。一方、建設業はわずかながら悪化した。

来期の見通し(7～9月)は、全産業で▲8.2と今期比で改善を見通している。

産業別では、小売業、建設業、卸売業が横ばい、製造業、サービス業が改善を見通している。

	前期(1-3月)		(C)	今期(4-6月)		
	(A)	来期見通 (4～6月)		前期比	来期見通(7～9月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
全産業	▲ 35.1	▲ 24.4	▲ 11.9	23.2	▲ 8.2	3.7
建設業	▲ 21.1	▲ 5.3	▲ 22.9	-1.8	▲ 22.8	0.1
製造業	▲ 29.0	0.0	▲ 3.2	25.8	12.9	16.1
卸売業	▲ 36.6	▲ 40.0	▲ 19.4	17.2	▲ 19.3	0.1
小売業	▲ 54.3	▲ 40.0	▲ 18.8	35.5	▲ 18.8	0.0
サービス業	▲ 35.3	▲ 38.3	6.7	42.0	10.3	3.6



3. 資金繰り

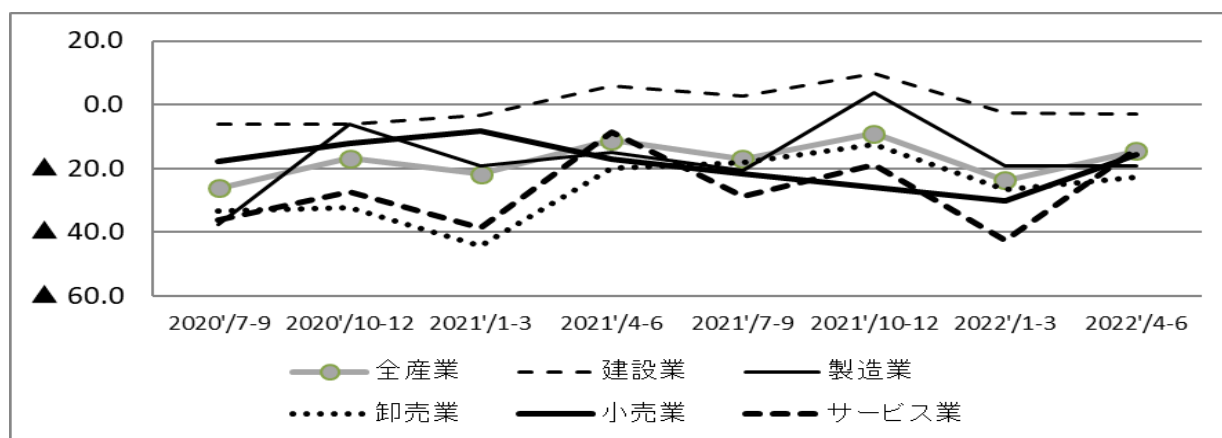
今期(4～6月)の資金繰りDI値は、全産業で▲14.5と前期比で改善した。

産業別では、製造業が横ばい、サービス業、小売業、卸売業が改善した。特にサービス業は、プラス28.6ポイントと大幅に改善した。一方、建設業はわずかながら悪化した。

来期の見通し(7～9月)は、全産業で▲17.7と今期比で悪化を見通している。

産業別では、建設業が横ばい、卸売業、小売業、製造業が悪化を見通す一方、サービスは改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(7～9月)	
					(D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲23.7	▲21.7	▲14.5	9.2	▲17.7	-3.2
建設業	▲2.6	▲13.2	▲2.9	-0.3	▲2.8	0.1
製造業	▲19.3	▲6.5	▲19.3	0.0	▲22.6	-3.3
卸売業	▲26.7	▲30.0	▲22.6	4.1	▲35.5	-12.9
小売業	▲30.3	▲26.5	▲15.6	14.7	▲21.8	-6.2
サービス業	▲42.4	▲33.4	▲13.8	28.6	▲6.9	6.9



4. 受注残(未消化工事高)

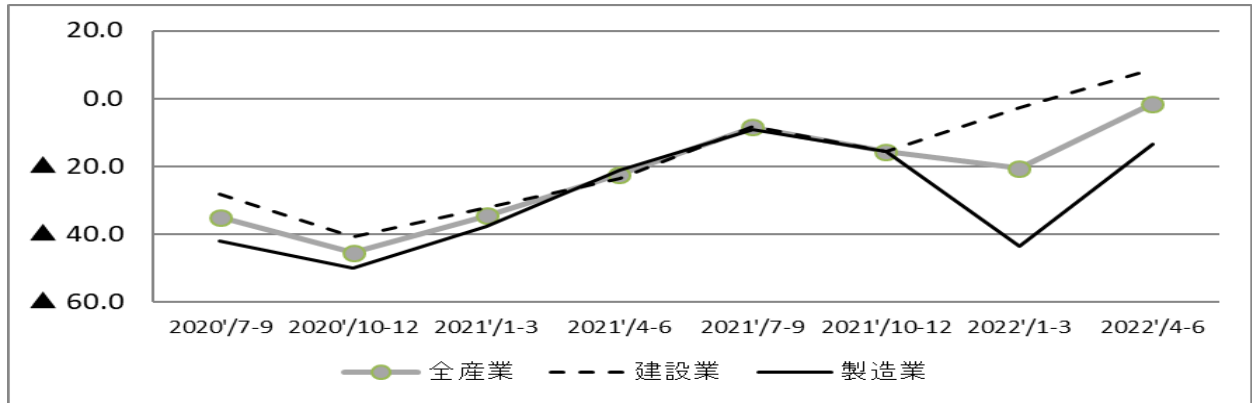
今期(4～6月)の受注残DI値は、全産業で▲1.6と前期比で大幅に改善した。

産業別では、製造業、建設業ともに改善した。特に製造業はプラス30.1ポイントと大幅に改善、建設業も前期のマイナスからプラスに転じた。

来期の見通し(7～9月)は、全産業で▲6.2と今期比で悪化を見通している。

産業別では、建設業が今期のプラスからマイナスに転じる一方、製造業は改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 20.6	▲ 8.8	▲ 1.6	19.0	▲ 6.2	-4.6
建設業	▲ 2.7	▲ 2.7	8.6	11.3	▲ 8.6	-17.2
製造業	▲ 43.4	▲ 16.7	▲ 13.3	30.1	▲ 3.4	9.9



5. 採算(経常利益)

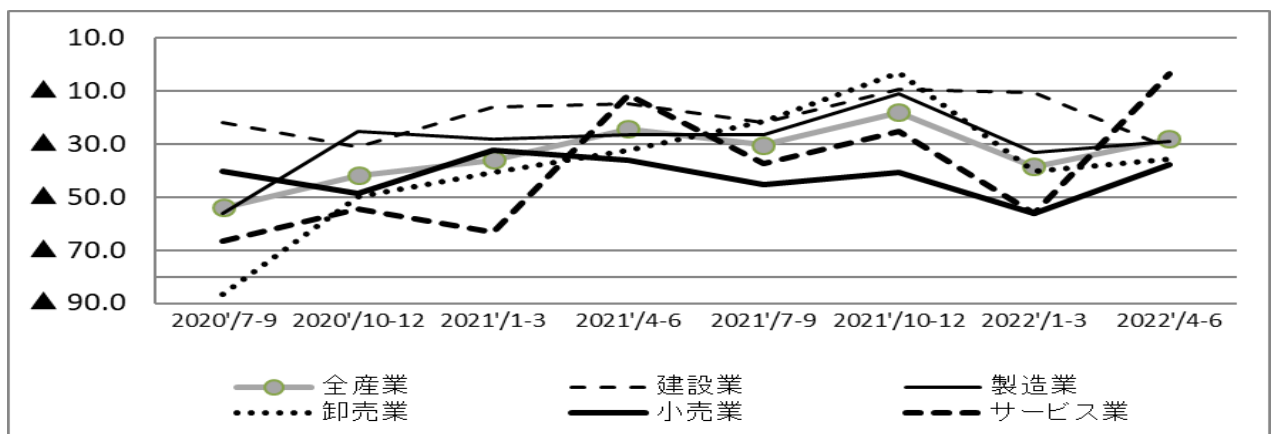
今期(4~6月)の採算DI値は、全産業で▲27.9と前期比で改善した。

産業別では、サービス業、小売業、卸売業、製造業が改善した。特にサービス業はプラス 52.8ポイントと大幅に改善した。一方、建設業は、大幅に悪化した。

来期の見通し(7~9月)は、全産業で▲22.2と今期比で改善を見通している。

産業別では、製造業、建設業、サービス業、小売業で改善を見通す一方、卸売業は悪化を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 27.9	10.6	▲ 22.2	5.7
建設業	▲ 10.5	▲ 10.6	▲ 31.4	-20.9	▲ 17.1	14.3
製造業	▲ 33.3	▲ 22.6	▲ 29.0	4.3	▲ 12.9	16.1
卸売業	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 35.5	4.5	▲ 45.1	-9.6
小売業	▲ 55.9	▲ 42.8	▲ 37.5	18.4	▲ 34.4	3.1
サービス業	▲ 56.2	▲ 45.2	▲ 3.4	52.8	0.0	3.4



6. 従業員(含む臨時)

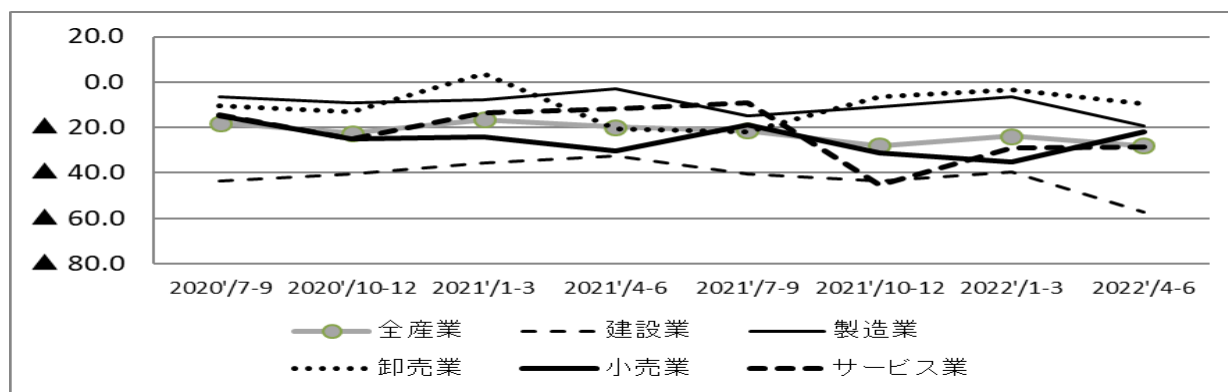
今期(4～6月)の従業員DI値は、全産業で▲28.0と前期比で不足感を拡大した。

産業別では、建設業、製造業、卸売業が不足感を拡大した。特に建設業は▲57.1と厳しい状況となった。一方、小売業、サービス業は不足感を縮小した。

来期の見通し(7～9月)は、全産業で▲24.9と今期比で不足感の縮小を見通している。

産業別では、サービス業が横ばい、小売業、建設業、製造業が不足感の縮小を見通す一方、卸売業は不足感の拡大を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 23.8	▲ 23.0	▲ 28.0	-4.2	▲ 24.9	3.1
建設業	▲ 39.5	▲ 42.1	▲ 57.1	-17.6	▲ 51.4	5.7
製造業	▲ 6.4	▲ 12.9	▲ 19.4	-13.0	▲ 16.2	3.2
卸売業	▲ 3.4	▲ 3.3	▲ 9.6	-6.2	▲ 12.9	-3.3
小売業	▲ 35.3	▲ 17.1	▲ 21.9	13.4	▲ 12.5	9.4
サービス業	▲ 29.0	▲ 35.4	▲ 28.6	0.4	▲ 28.6	0.0



II. 産業別DI値

1. 建設業

今期(4～6月)のDI値は、業況が▲14.3と前期比で改善した。

項目別では、受注残が改善し、前期のマイナスからプラスに転じた。一方、採算、完成工事額、資金繰りは悪化した。特に採算は、マイナス 20.9 ポイントと大幅に悪化した。従業員は大幅に不足感を拡大し、▲57.1 と厳しい状況となった。

企業からは、「公共工事が多く、採算は良い」【建設工事】とのコメントがある一方、「冬の工事の完成だったので採算は取れなかった」【土木工事】とのコメントがあった。

来期の見通し(7～9月)は、業況が▲5.9と今期比で改善を見通している。

項目別では、完成工事額、資金繰りが横ばい、採算で改善を見通す一方、受注残で悪化を見通している。従業員は不足感の縮小を見通している。

企業からは、「工事受注状況が良いため、業績も好転する見込」【一般電気工事】とのコメントがある一方、「民間工事が主体で採算は悪い」【建設工事】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
業況	▲ 18.4	▲ 15.8	▲ 14.3	4.1	▲ 5.9	8.4
完成工事額	▲ 21.1	▲ 5.3	▲ 22.9	-1.8	▲ 22.8	0.1
資金繰り	▲ 2.6	▲ 13.2	▲ 2.9	-0.3	▲ 2.8	0.1
受注残	▲ 2.7	▲ 2.7	8.6	11.3	▲ 8.6	-17.2
採算(経常利益)	▲ 10.5	▲ 10.6	▲ 31.4	-20.9	▲ 17.1	14.3
従業員(含む臨時)	▲ 39.5	▲ 42.1	▲ 57.1	-17.6	▲ 51.4	5.7

2. 製造業

今期(4~6月)のDI値は、業況が▲9.7と前期比で大幅に改善した。

項目別では、資金繰りが横ばい、受注残、売上額、採算が改善した。特に受注残、売上額はそれぞれプラス 30.1 ポイント、プラス 25.8 ポイントと大幅に改善した。従業員は不足感を拡大した。

企業からは、「経済活動が正常化に向かう中、人流の回復やイベントの再開により、飲食店での消費が増加に転じつつあるようだ。経済活動が一足早く正常化した海外への輸出は極めて順調である」【清酒】とのコメントがある一方、「原材料だけでなく、副素材やその他すべてについて経費増となっているが、原材料費以外の経費については、なかなか価格に転嫁できていない」【金属製品】とのコメントがあった。

来期の見通し(7~9月)は、業況が▲3.2と今期比で改善を見通している。

項目別では、売上額、採算、受注残で改善を見通す一方、資金繰りは悪化を見通している。従業員は不足感の縮小を見通している。

企業からは「販売価格は値上がりしており、当面利益は改善され、採算は好転の見込」【コンクリート】とのコメントがある一方、「原料の不安定な状況は続き、生産コストアップによる収益性の低下を見込む」【水産物】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
業況	▲ 35.4	▲ 16.1	▲ 9.7	25.7	▲ 3.2	6.5
売上額	▲ 29.0	0.0	▲ 3.2	25.8	12.9	16.1
資金繰り	▲ 19.3	▲ 6.5	▲ 19.3	0.0	▲ 22.6	-3.3
受注残	▲ 43.4	▲ 16.7	▲ 13.3	30.1	▲ 3.4	9.9
採算(経常利益)	▲ 33.3	▲ 22.6	▲ 29.0	4.3	▲ 12.9	16.1
従業員(含む臨時)	▲ 6.4	▲ 12.9	▲ 19.4	-13.0	▲ 16.2	3.2

3. 卸売業

今期(4~6月)のDI値は、業況が▲38.7と前期比で悪化した。

項目別では、売上額、採算、資金繰りが改善した。従業員は不足感を拡大した。

企業からは、「仕入単価の大幅な上昇により、利益確保が難しくなっている」【機械工具】とのコメントがある一方、「売上は、コロナ状況が落ち着いてきたことを機に好転の兆しが見える。採算については、人手不足の中であるが、逆に人件費抑制につながっている」【青果・水産物】とのコメントがあった。

来期の見通し(7~9月)は、業況が▲45.1と今期比で悪化を見通している。

項目別では、売上額が横ばい、資金繰り、採算で悪化を見通している。従業員は不足感の拡大を見通している。

企業からは、「公共工事の減少による売上減少を見込む」【塗料】とのコメントがある一方、「今期に引き続き工事案件がある」【家電】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4-6月)	(C)	前期比	来期見通(7-9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 33.3	▲ 46.7	▲ 38.7	-5.4	▲ 45.1	-6.4
売上額	▲ 36.6	▲ 40.0	▲ 19.4	17.2	▲ 19.3	0.1
資金繰り	▲ 26.7	▲ 30.0	▲ 22.6	4.1	▲ 35.5	-12.9
採算(経常利益)	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 35.5	4.5	▲ 45.1	-9.6
従業員(含む臨時)	▲ 3.4	▲ 3.3	▲ 9.6	-6.2	▲ 12.9	-3.3

4. 小売業

今期(4-6月)のDI値は、業況が▲37.5と前期比で大幅に改善した。

項目別では、売上額、採算、資金繰りが改善した。特に売上額はプラス35.5ポイントと大幅に改善した。従業員は不足感を縮小した。

企業からは、「3月で底を打ち、4月以降は、人、物の流れも回復基調にある。5月は昨年対比で150%の売上実績となった」【食料品】とのコメントがある一方、「半導体の供給不足に加え、新型コロナの影響により、サプライチェーンの混乱が続いている。部品供給不足から生産ラインの稼働停止等が発生。商品(新車)の出荷が減少し、新車販売が前年の約8割程度になったことから減収・減益を見込む」【自動車】とのコメントがあった。

来期の見通し(7-9月)は、業況が▲40.6と今期比で悪化を見通している。

項目別では、売上額が横ばい、資金繰りが悪化、採算で改善を見通している。従業員は不足感の縮小を見通している。

企業からは、「半導体不足やサプライチェーンの混乱等で部品供給不足となっている。生産ラインの稼働停止(減産)が今後も続くことが予想され、前年同期の新車販売台数を確保することは困難。引き続き減収・減益を見込む」【自動車】とのコメントがある一方、「夏祭りも開催の予定となり、昨年よりは上積みが見込める」【食料品】とのコメントがあった。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4-6月)	(C)	前期比	来期見通(7-9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 55.9	▲ 42.8	▲ 37.5	18.4	▲ 40.6	-3.1
売上額	▲ 54.3	▲ 40.0	▲ 18.8	35.5	▲ 18.8	0.0
資金繰り	▲ 30.3	▲ 26.5	▲ 15.6	14.7	▲ 21.8	-6.2
採算(経常利益)	▲ 55.9	▲ 42.8	▲ 37.5	18.4	▲ 34.4	3.1
従業員(含む臨時)	▲ 35.3	▲ 17.1	▲ 21.9	13.4	▲ 12.5	9.4

5. サービス業

今期(4-6月)のDI値は、業況が▲6.7と前期比で大幅に改善した。

項目別では、採算、売上額、資金繰りで大幅に改善した。特に採算、売上額はそれぞれプラス52.8ポイント、プラス42.0ポイントと大幅に改善した。また、売上額は前期のマイナスからプラスに転じた。従業員はわずかながら不足感を縮小した。

企業からは、「6月に入り、売上も増加しつつあるように思われる」【ビルメンテナンス】とのコメントがある一方、「コロナがまだまだ影響している。大口の宴会はなし」【食堂】とのコメントがあった。

来期の見通し(7-9月)は、業況は▲13.8と今期比で悪化を見通している。

項目別では、売上額がプラス幅を拡大、資金繰り、採算で改善を見通している。従業員は横ばいを見通している。

企業からは「貸切バス需要は回復が見込まれるが、高速バスは減便を継続しており、ウイズコロナでの需要増加に期待したい」【運輸】とのコメントがある一方、「売上額は増加しても光熱費、材料費が全部上昇するため、利益は出ないと思われる」【食堂】とのコメントがあった。

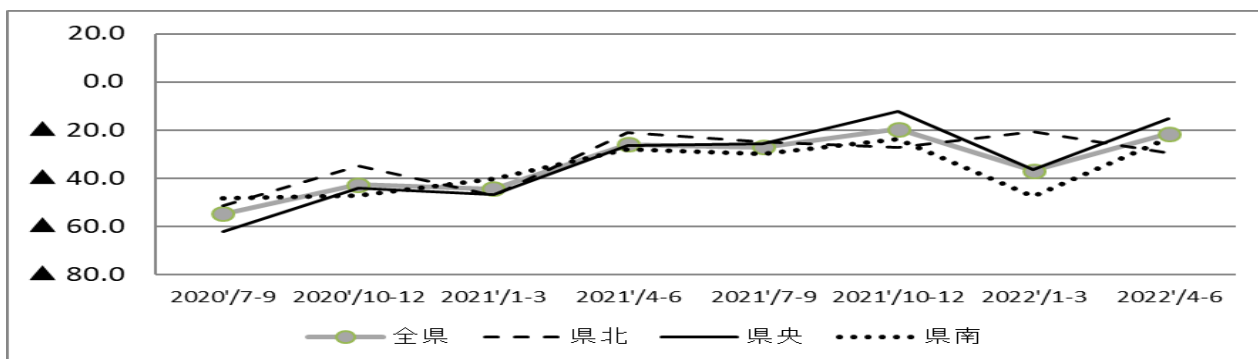
	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 42.4	▲ 36.4	▲ 6.7	35.7	▲ 13.8	-7.1
売上額	▲ 35.3	▲ 38.3	6.7	42.0	10.3	3.6
資金繰り	▲ 42.4	▲ 33.4	▲ 13.8	28.6	▲ 6.9	6.9
採算(経常利益)	▲ 56.2	▲ 45.2	▲ 3.4	52.8	0.0	3.4
従業員(含む臨時)	▲ 29.0	▲ 35.4	▲ 28.6	0.4	▲ 28.6	0.0

Ⅲ. 地域別DI値

1. 業況

今期(4~6月)のDI値は、前期比で県南、県央が大幅に改善、県北は悪化した。
来期の見通し(7~9月)は、今期比で県央、県南が悪化、県北が改善を見通している。

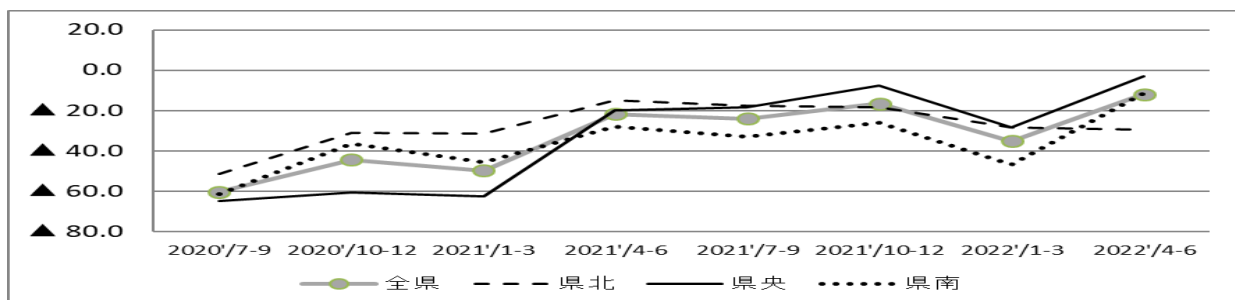
	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 36.8	▲ 31.1	▲ 21.4	15.4	▲ 21.7	-0.3
県 北	▲ 20.5	▲ 23.0	▲ 29.4	-8.9	▲ 17.6	11.8
県 央	▲ 36.3	▲ 29.8	▲ 15.4	20.9	▲ 21.9	-6.5
県 南	▲ 47.6	▲ 37.7	▲ 23.3	24.3	▲ 23.7	-0.4



2. 売上額・完成工事額

今期(4~6月)のDI値は、前期比で県南、県央が大幅に改善、県北はわずかながら悪化した。
来期見通し(7~9月)は、今期比で県北、県南が改善、県央が悪化を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4~6月)	(C)	前期比	来期見通(7~9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 35.1	▲ 24.4	▲ 11.9	23.2	▲ 8.2	3.7
県 北	▲ 28.2	▲ 28.2	▲ 29.5	-1.3	▲ 5.9	23.6
県 央	▲ 28.4	▲ 16.4	▲ 3.1	25.3	▲ 9.4	-6.3
県 南	▲ 46.8	▲ 30.7	▲ 11.6	35.2	▲ 8.3	3.3

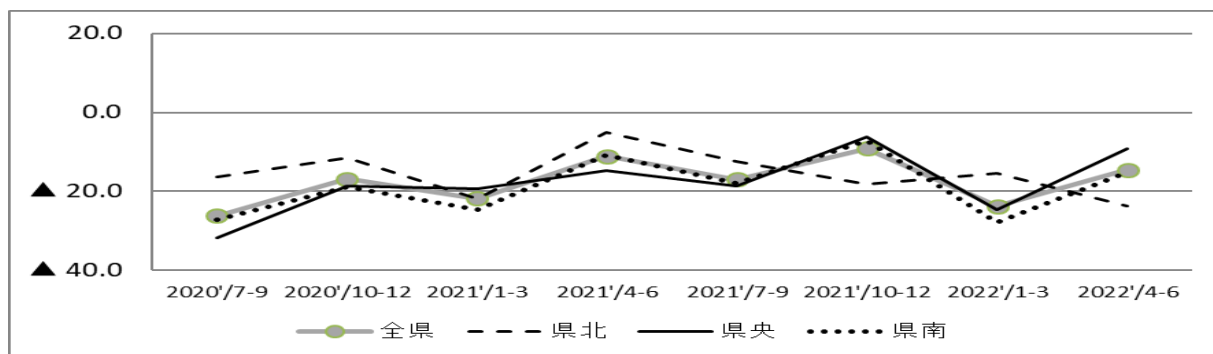


3. 資金繰り

今期(4～6月)のDI値は、前期比で県央、県南が改善、県北は悪化した。

来期見通し(7～9月)は、県央、県南が悪化、県北はわずかながら改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
全 県	▲ 23.7	▲ 21.7	▲ 14.5	9.2	▲ 17.7	-3.2
県 北	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 23.6	-8.2	▲ 20.6	3.0
県 央	▲ 24.6	▲ 19.7	▲ 9.2	15.4	▲ 17.2	-8.0
県 南	▲ 27.8	▲ 27.8	▲ 15.2	12.6	▲ 16.7	-1.5

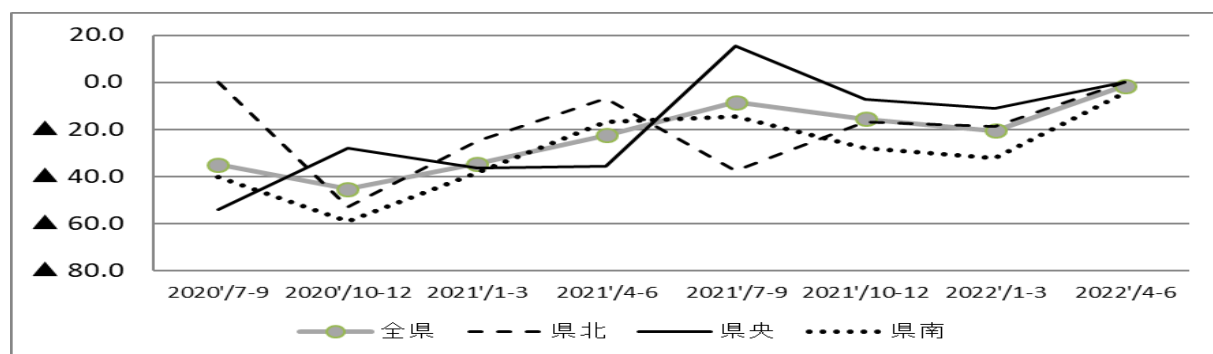


4. 受注残(未消化工事高)

今期(4～6月)のDI値は、前期比で全域が改善した。

来期見通し(7～9月)は、今期比で県北、県央は悪化、県南は改善を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
全 県	▲ 20.6	▲ 8.8	▲ 1.6	19.0	▲ 6.2	-4.6
県 北	▲ 18.8	▲ 12.5	0.0	18.8	▲ 13.3	-13.3
県 央	▲ 11.1	▲ 11.1	0.0	11.1	▲ 7.1	-7.1
県 南	▲ 32.0	▲ 4.0	▲ 4.4	27.6	0.0	4.4

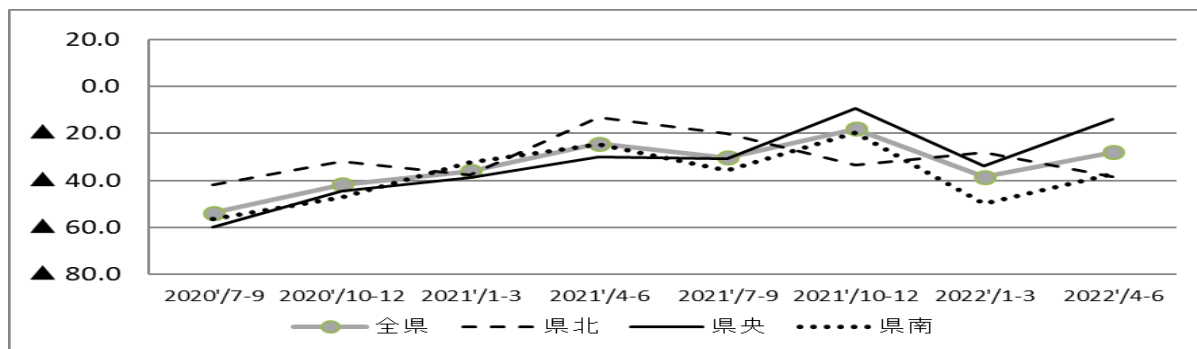


5. 採算(経常利益)

今期(4～6月)のDI値は、前期比で県央、県南が改善、県北は悪化した。

来期見通し(7～9月)は、今期比で県北、県南が改善を見通す一方、県央は悪化を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 27.9	10.6	▲ 22.2	5.7
県 北	▲ 28.2	▲ 30.8	▲ 38.3	-10.1	▲ 20.6	17.7
県 央	▲ 33.9	▲ 30.7	▲ 13.9	20.0	▲ 21.9	-8.0
県 南	▲ 50.0	▲ 37.7	▲ 37.2	12.8	▲ 23.4	13.8

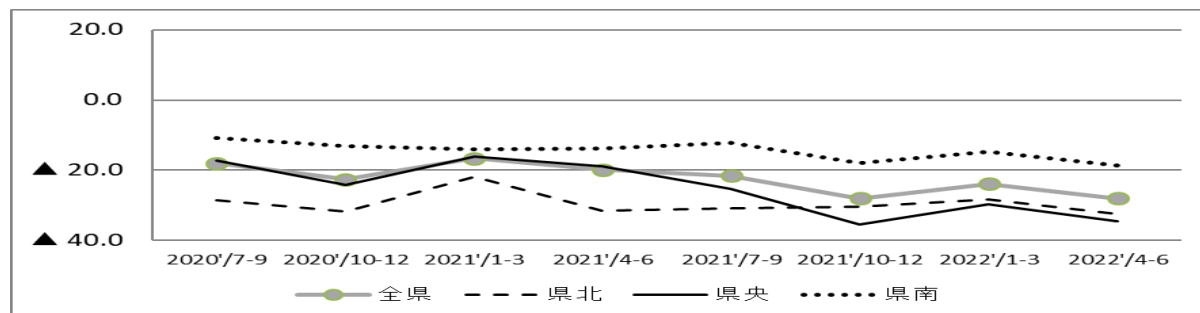


6. 従業員(含む臨時)

今期(4～6月)のDI値は、前期比で全域が不足感を拡大した。

来期見通し(7～9月)は、今期比で県央、県北で不足感の縮小を見通す一方、県南はわずかながら不足感の拡大を見通している。

	前期(1-3月)		今期(4-6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通(7～9月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 23.8	▲ 23.0	▲ 28.0	-4.2	▲ 24.9	3.1
県 北	▲ 28.2	▲ 23.0	▲ 32.4	-4.2	▲ 29.4	3.0
県 央	▲ 29.6	▲ 26.1	▲ 34.4	-4.8	▲ 27.0	7.4
県 南	▲ 14.7	▲ 19.7	▲ 18.6	-3.9	▲ 20.0	-1.4



IV. 産業別設備投資

全産業における今期(4～6月)の設備投資については、「実施した」とする企業は46件で、前期比で6件減少した。

産業別では、「実施した」とする中で最も多かったのは、建設業(15件)、次いでサービス業(10件)、製造業(9件)の順となっている。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」(23件)、次いで「機械・設備・倉庫」「OA機器」(ともに9件)、「建物・工場・店舗」(7件)の順となっている。

来期(7～9月)の計画では、全産業で「計画している」としたのは45件で、今期比1件減少している。

産業別では、「計画している」とした中で最も多かったのは、建設業(12件)、製造業(11件)、サービス業(8件)の順となっている。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」(15件)、「機械・設備・倉庫」(11件)、「OA機器」(10件)の順となっている。

設備投資状況

(件数)

		前期(1～3月)				今期(4～6月)					
		実施した (A)	実施しない	来期の計画(4～6月)		実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	来期の計画(7～9月)		
				計画している (B)	計画していない				計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)
	全産業	52	116	49	119	46	113	▲ 6	45	114	▲ 1
	建設業	16	22	11	27	15	20	▲ 1	12	23	▲ 3
	製造業	10	21	12	19	9	22	▲ 1	11	20	2
	卸売業	6	24	9	21	5	26	▲ 1	7	24	2
	小売業	7	28	7	28	7	25	0	7	25	0
	サービス業	13	21	10	24	10	20	▲ 3	8	22	▲ 2

設備内容(複数回答)

(件数)

	全産業		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	5	4	3	1	1	1	0	0	0	0	1	2
②建物・工場・店舗	7	9	1	1	1	3	1	1	2	1	2	3
③機械・設備・倉庫	9	11	2	1	5	5	0	1	0	1	2	3
④車両・運搬具	23	15	9	4	1	1	3	2	4	4	6	4
⑤付帯施設	4	7	0	1	1	1	0	2	1	1	2	2
⑥OA機器	9	10	3	5	2	2	1	2	0	1	3	0
⑦福利厚生施設	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
⑧その他	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
合 計	60	58	19	13	11	13	5	9	7	8	18	15

V. 地域別設備投資

今期(4～6月)の設備投資について、「実施した」企業は、前期比で県北は横ばい、県央、県南は減少した。

設備投資で最も多いのは、全域で「車両・運搬具」[県北(7件)、県央(10件)、県南(6件)]となった。

来期(7～9月)の設備投資について、「計画している」企業は、今期比で県央が横ばい、県南が減少、県北が増加を見通している。

「計画している」企業の設備内容で最も多かったのは、県北で「車両・運搬具」(5件)、県央で「車両・運搬具」(9件)、県南で「建物・工場・店舗」(5件)となっている。

設備投資状況

(件数)

		前期(1～3月)				今期(4～6月)					
		実施した た (A)	実施しない	来期の計画(4～6月)		実施した た (C)	実施しない	前期比 (C-A)	来期の計画(7～9月)		
				計画している (B)	計画していない				計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)
	全 体	52	116	49	119	46	113	▲ 6	45	114	▲ 1
	県 北	11	28	13	26	11	23	0	12	22	1
	県 央	25	42	20	47	21	44	▲ 4	21	44	0
	県 南	16	46	16	46	14	46	▲ 2	12	48	▲ 2

設備内容(複数回答)

(件数)

	全 県		県 北		県 央		県 南	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	5	4	1	0	1	2	3	2
②建物・工場・店舗	7	9	2	3	2	2	5	5
③機械・設備・倉庫	9	11	1	2	7	6	2	3
④車両・運搬具	23	15	7	5	10	9	6	1
⑤付帯施設	4	7	1	0	3	6	0	0
⑥OA機器	9	10	1	3	6	3	2	4
⑦福利厚生施設	1	1	0	0	0	1	0	0
⑧その他	2	1	2	1	0	0	0	0
合 計	60	58	15	14	29	29	18	15

VI. 経営上の問題点

産業別における「経営上の問題点」は、前期に引き続き、建設業は「材料価格の上昇」、製造業は「原材料価格の上昇」、卸売業、小売業は「仕入価格の上昇」、サービス業は「従業員の確保難」を第1位に挙げている。

2位以下の項目では、建設業が「熟練技術者の確保難」、製造業が「原材料費・人件費以外の経費の増加」、卸売業が「販売単価の低下・上昇難」「需要の停滞」、小売業が「消費者ニーズの変化への対応」、サービス業が「人件費以外の経費の増加」「需要の停滞」を問題点として挙げており、原材料価格の上昇、仕入単価の上昇、人材不足、需要の停滞、消費者ニーズの変化への対応、販売単価の低下・上昇難、原材料費・人件費以外の経費の増加等が経営課題となっていることがうかがえる。

	1位		2位		3位	
建設業	材料価格の上昇		熟練技術者の確保難		材料価格の上昇	
	29.4%	10件	18.8%	6件	24.1%	7件
製造業	原材料価格の上昇		原材料価格の上昇		原材料費・人件費以外の経費の増加	
	43.3%	13件	24.1%	7件	22.2%	6件
卸売業	仕入単価の上昇		販売単価の低下・上昇難		需要の停滞	
	48.4%	15件	30.0%	9件	18.5%	5件
小売業	仕入単価の上昇		消費者ニーズの変化への対応 仕入単価の上昇		消費者ニーズの変化への対応	
	25.8%	8件	20.7%	6件	17.9%	5件
サービス業	従業員の確保難		人件費以外の経費の増加		需要の停滞 従業員の確保難	
	28.0%	7件	26.1%	6件	21.1%	4件

※ %は1位、2位、3位それぞれの回答数(=100%)の割合を示したものの。

参考:1~3位を累計した場合

	1位		2位		3位	
建設業	材料価格の上昇		従業員の確保難 熟練技術者の確保難		官公需要の停滞 民間需要の停滞	
	22.1%	21件	15.8%	15件	7.4%	7件
製造業	原材料価格の上昇		生産設備の不足・老朽化		需要の停滞 原材料費・人件費以外の経費の増加	
	26.7%	23件	12.8%	11件	8.1%	7件
卸売業	仕入単価の上昇		需要の停滞		販売単価の低下・上昇難	
	27.3%	24件	19.3%	17件	14.8%	13件
小売業	仕入単価の上昇		消費者ニーズの変化への対応		需要の停滞 販売単価の低下・上昇難	
	18.2%	16件	15.9%	14件	9.1%	8件
サービス業	従業員の確保難		燃料代の負担増加		需要の停滞 人件費以外の経費の増加 材料等仕入単価の上昇	
	17.9%	12件	11.9%	8件	10.4%	7件

※ %は1~3位までの総回答数(=100%)の割合を示したものの。

【付帯調査】

VII. 新型コロナウイルス感染症による経営への影響調査

VII—1. 経営環境の変化について(複数回答)

・経営環境の変化について聞いたところ、回答のあった 305 件中、⑤「社会全体の価値観・行動規範」が 62 件 20.3%、①「調達先の供給量、調達コストの変化」が 58 件 19.0%、③「最終消費者の購買活動、ニーズの変化」が 51 件 16.7%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比(%)	選 択 肢	件数	構成比(%)
①調達先の供給量、調達コストの変化	58	19.0	⑥自社の事業領域の拡大／縮小	22	7.2
②従業員の働き方	33	10.8	⑦業界全体の技術開発、進化のスピード	5	1.6
③最終消費者の購買活動、ニーズの変化	51	16.7	⑧業界団体や他業界との連携強化	9	3.0
④販売先の発注量、ニーズの変化	43	14.1	⑨その他	1	0.3
⑤社会全体の価値観・行動規範	62	20.3	⑩特になし	21	6.9

○その他のコメント

・小売業

・テナント（百貨店）の改装で売場面積が狭くなったため、置ける商品が減り、売上は 3 分の 1 になった【茶】

VII—2. これまで実施した対策について(複数回答)

・これまで実施した対策について聞いたところ、回答のあった 443 件中、⑭「衛生設備・衛生用品の設置」が 74 件 16.7%、⑪「不要不急の会議やイベント中止」が 73 件 16.5%、①「金融機関等からの借り入れ」が 69 件 15.6%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比(%)	選 択 肢	件数	構成比(%)
①金融機関等からの借り入れ	69	15.6	⑪不要不急の会議やイベント中止	73	16.5
②テレワーク等の在宅勤務	9	2.0	⑫商品・サービスの価格や提供方法の見直し	29	6.5
③従業員の休暇取得推奨	32	7.2	⑬業種・業態の見直し(テイクアウト・通販等)	6	1.4
④従業員の賃金カット	3	0.7	⑭衛生設備・衛生用品の設置	74	16.7
⑤従業員の賃金引き上げ(諸手当含む)	17	3.8	⑮テレワーク・オンラインへ向けた環境整備	25	5.6
⑥従業員の人員削減	9	2.0	⑯設備投資計画の延期・縮小	10	2.3
⑦従業員の人員増員	3	0.7	⑰事業拡大／設備等の新增設	6	1.4
⑧従業員の新規採用の見送り	12	2.7	⑱新たな商品・サービスの開発	19	4.3
⑨事業所の臨時休業	16	3.6	⑲その他	2	0.5
⑩事業所の営業時間短縮	17	3.8	⑳特になし	12	2.7

○その他のコメント

- ・建設業
 - ・ワクチン接種及びその後の副反応による休みの有休処理【塗装工事】
- ・小売業
 - ・関連施設の改築等【茶】

Ⅶ—3. 活用(予定含む)した国・県・市の経営支援策について(複数回答)

- ・活用(予定含む)した国・県・市の経営支援策について聞いたところ、回答のあった 275 件中、①「〔国〕事業復活支援金」が 47 件 17.1%、⑧「〔国〕持続化給付金」が 46 件 16.7%、⑮「特になし」が 43 件 15.6%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比(%)	選 択 肢	件数	構成比(%)
①〔国〕事業復活支援金	47	17.1	⑨〔国〕家賃支援給付金	4	1.5
②〔国〕事業再構築補助金	4	1.5	⑩〔市〕感染症拡大防止協力金(休業等への協力)	5	1.8
③〔国〕持続化補助金	32	11.6	⑪〔市〕感染症拡大防止協力金(県上乗せ)	10	3.6
④〔国〕雇用調整助成金	28	10.2	⑫〔市〕地域産業支援金(協力金等非該当者)	4	1.5
⑤〔国〕小学校休業等対応助成金	5	1.8	⑬〔他〕各種貸付金	21	7.6
⑥〔国〕納税猶予の特例	10	3.6	⑭その他	2	0.7
⑦〔国〕セーフティーネット保証	14	5.1	⑮特になし	43	15.6
⑧〔国〕持続化給付金	46	16.7			

○その他のコメント

- ・製造業
 - ・〔市〕補助金(テレワーク設備)【機械器具】
- ・小売業
 - ・〔市〕クーポン券発行団体等支援事業費補助金【畳】

Ⅶ—4. 今後の事業展開について

- ・今後の事業展開について聞いたところ、回答のあった154社中、①「現状維持」が103社66.9%、②「事業を拡大する」が17社11.0%、③「事業を縮小する」が9社5.8%の順となった。

選 択 肢	社数	構成比(%)	選 択 肢	社数	構成比(%)
①現状維持	103	66.9	⑥事業承継を検討する	8	5.2
②事業を拡大する	17	11.0	⑦廃業を検討する	4	2.6
③事業を縮小する	9	5.8	⑧その他	0	0.0
④業態を転換する	5	3.3	合 計	154	100.0
⑤新分野の業種に進出する	8	5.2			

Ⅶ—5. 今後重点的に対応すべき取組について(複数回答)

- ・今後重点的に対応すべき取組について聞いたところ、回答のあった334件中、④「収益改善」が70件21.0%、⑦「組織・人事戦略、人材育成」が56件16.8%、①「企業戦略の見直し」が49件14.7%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比(%)	選 択 肢	件数	構成比(%)
①企業戦略の見直し	49	14.7	⑦組織・人事戦略、人材育成	56	16.8
②新規事業開発	26	7.8	⑧IT、DX対応	24	7.2
③マーケティングの強化	39	11.7	⑨サステナビリティ	10	3.0
④収益改善	70	21.0	⑩その他	0	0.0
⑤経営管理高度化	14	4.2	⑪特になし	14	4.2
⑥事業承継	32	9.6			

Ⅶ—6. 行政等に望む支援策について(複数回答)

- ・行政等に望む支援策について聞いたところ、回答のあった309件中、③「設備投資などへの支援」が59件19.1%、②「資金繰りへの支援」が46件14.9%、⑥「雇用関係への支援」が38件12.3%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比(%)	選 択 肢	件数	構成比(%)
①経営相談	11	3.6	⑦事業承継への支援	25	8.1
②資金繰りへの支援	46	14.9	⑧国内販路開拓への支援	14	4.5
③設備投資などへの支援	59	19.1	⑨海外販路開拓への支援	8	2.6
④販売促進への支援	35	11.3	⑩デジタル化への支援	28	9.1
⑤感染症対策への支援	16	5.2	⑪その他	0	0.0
⑥雇用関係への支援	38	12.3	⑫特になし	29	9.4

Ⅶ—7.その他(意見等)

・建設業

- ・官公庁の発注に期待しているが、果たして増加するか見極める必要があるようだ【一般土木建築】

・製造業

- ・社会環境に洋上風力や脱CO2等を取り込んだ街づくりを考えていかなければならなくなるだろう【水産物】

・卸売業

- ・コロナの収束を願うばかりである。各地の祭りイベントの開催に期待している【雑貨】
- ・新型コロナの次は飼料価格の暴騰と、畜産業界は存亡の危機に直面していると言っても過言ではない。飲食店等は給付金・補助金があるが、我々生産者には全くない。とは言え鶏卵・肉は容易に価格転嫁できるものでもなく、大変苦しんでいる。どうか、我々畜産業者も助けてほしい【鶏卵】

・小売業

- ・事業展開にあたり、基本的には自助なのだろうが、公助が足りないと我々にも影響してくると思っている。購買意欲が高まるような施策を打たないといつまでも失われた30年が続くだけだと思う【茶】
- ・原材料の高騰、諸経費の値上がりに今後の見通しが立たない【菓子】
- ・かなり経営が厳しい【酒類】

・サービス業

- ・これ以上業務拡張は考えていない【測量設計】

Ⅷ. 総括表

秋田県内中小企業景況調査 全産業別景気判断比較表(DI値) (第1四半期:2022年4月～6月)

(▲マイナス)

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り					
	前期(1～3月)		今期(4～6月)				前期(1～3月)		今期(4～6月)				前期(1～3月)		今期(4～6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比 (C)－(A)	来期見通 (D)	今期比 (D)－(C)	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	(C)－(A)	(D)	今期比 (D)－(C)
(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	
全産業	▲ 36.8	▲ 31.1	▲ 21.4	15.4	▲ 21.7	－0.3	▲ 35.1	▲ 24.4	▲ 11.9	23.2	▲ 8.2	3.7	▲ 23.7	▲ 21.7	▲ 14.5	9.2	▲ 17.7	－3.2
建設業	▲ 18.4	▲ 15.8	▲ 14.3	4.1	▲ 5.9	8.4	▲ 21.1	▲ 5.3	▲ 22.9	－1.8	▲ 22.8	0.1	▲ 2.6	▲ 13.2	▲ 2.9	－0.3	▲ 2.8	0.1
製造業	▲ 35.4	▲ 16.1	▲ 9.7	25.7	▲ 3.2	6.5	▲ 29.0	0.0	▲ 3.2	25.8	12.9	16.1	▲ 19.3	▲ 6.5	▲ 19.3	0.0	▲ 22.6	－3.3
卸売業	▲ 33.3	▲ 46.7	▲ 38.7	－5.4	▲ 45.1	－6.4	▲ 36.6	▲ 40.0	▲ 19.4	17.2	▲ 19.3	0.1	▲ 26.7	▲ 30.0	▲ 22.6	4.1	▲ 35.5	－12.9
小売業	▲ 55.9	▲ 42.8	▲ 37.5	18.4	▲ 40.6	－3.1	▲ 54.3	▲ 40.0	▲ 18.8	35.5	▲ 18.8	0.0	▲ 30.3	▲ 26.5	▲ 15.6	14.7	▲ 21.8	－6.2
サービス業	▲ 42.4	▲ 36.4	▲ 6.7	35.7	▲ 13.8	－7.1	▲ 35.3	▲ 38.3	6.7	42.0	10.3	3.6	▲ 42.4	▲ 33.4	▲ 13.8	28.6	▲ 6.9	6.9

	受注残(未消化工事高)						採算(経常利益)						従業員(含む臨時)					
	前期(1～3月)		今期(4～6月)				前期(1～3月)		今期(4～6月)				前期(1～3月)		今期(4～6月)			
	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通	(D)－(C)	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通	(D)－(C)	(A)	来期見通 (4～6月)	(C)	前期比	来期見通	(D)－(C)
(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	(A)	(B)	(C)	(C)－(A)	(D)	(D)－(C)	
全産業	▲ 20.6	▲ 8.8	▲ 1.6	19.0	▲ 6.2	－4.6	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 27.9	10.6	▲ 22.2	5.7	▲ 23.8	▲ 23.0	▲ 28.0	－4.2	▲ 24.9	3.1
建設業	▲ 2.7	▲ 2.7	8.6	11.3	▲ 8.6	－17.2	▲ 10.5	▲ 10.6	▲ 31.4	－20.9	▲ 17.1	14.3	▲ 39.5	▲ 42.1	▲ 57.1	－17.6	▲ 51.4	5.7
製造業	▲ 43.4	▲ 16.7	▲ 13.3	30.1	▲ 3.4	9.9	▲ 33.3	▲ 22.6	▲ 29.0	4.3	▲ 12.9	16.1	▲ 6.4	▲ 12.9	▲ 19.4	－13.0	▲ 16.2	3.2
卸売業	—	—	—	—	—	—	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 35.5	4.5	▲ 45.1	－9.6	▲ 3.4	▲ 3.3	▲ 9.6	－6.2	▲ 12.9	－3.3
小売業	—	—	—	—	—	—	▲ 55.9	▲ 42.8	▲ 37.5	18.4	▲ 34.4	3.1	▲ 35.3	▲ 17.1	▲ 21.9	13.4	▲ 12.5	9.4
サービス業	—	—	—	—	—	—	▲ 56.2	▲ 45.2	▲ 3.4	52.8	0.0	3.4	▲ 29.0	▲ 35.4	▲ 28.6	0.4	▲ 28.6	0.0

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第1四半期:2022年4月～6月)

1. 今期の状況

業 種 \ 項 目		業 況			売上額・完成工事額			資 金 繰 り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	20	85	54	44	52	63	11	113	34	14	36	15	22	70	66	7	99	51
	%	12.6	53.5	34.0	27.7	32.7	39.6	7.0	71.5	21.5	21.5	55.4	23.1	13.9	44.3	41.8	4.5	63.1	32.5
	DI	▲ 21.4			▲ 11.9			▲ 14.5			▲ 1.6			▲ 27.9			▲ 28.0		
建設業	実数	4	22	9	6	15	14	2	30	3	9	20	6	2	20	13	0	15	20
	%	11.4	62.9	25.7	17.1	42.9	40.0	5.7	85.7	8.6	25.7	57.1	17.1	5.7	57.1	37.1	0.0	42.9	57.1
	DI	▲ 14.3			▲ 22.9			▲ 2.9			8.6			▲ 31.4			▲ 57.1		
製造業	実数	5	18	8	10	10	11	2	21	8	5	16	9	4	14	13	1	23	7
	%	16.1	58.1	25.8	32.3	32.3	35.5	6.5	67.7	25.8	16.7	53.3	30.0	12.9	45.2	41.9	3.2	74.2	22.6
	DI	▲ 9.7			▲ 3.2			▲ 19.3			▲ 13.3			▲ 29.0			▲ 19.4		
卸売業	実数	2	15	14	8	9	14	1	22	8				3	14	14	2	24	5
	%	6.5	48.4	45.2	25.8	29.0	45.2	3.2	71.0	25.8				9.7	45.2	45.2	6.5	77.4	16.1
	DI	▲ 38.7			▲ 19.4			▲ 22.6						▲ 35.5			▲ 9.6		
小売業	実数	3	14	15	8	10	14	2	23	7				5	10	17	1	23	8
	%	9.4	43.8	46.9	25.0	31.3	43.8	6.3	71.9	21.9				15.6	31.3	53.1	3.1	71.9	25.0
	DI	▲ 37.5			▲ 18.8			▲ 15.6						▲ 37.5			▲ 21.9		
サービス業	実数	6	16	8	12	8	10	4	17	8				8	12	9	3	14	11
	%	20.0	53.3	26.7	40.0	26.7	33.3	13.8	58.6	27.6				27.6	41.4	31.0	10.7	50.0	39.3
	DI	▲ 6.7			6.7			▲ 13.8						▲ 3.4			▲ 28.6		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第1四半期:2022年4月～6月)

2. 来期の見通し

業 種 \ 項 目		業 況			売上額・完成工事額			資 金 繰 り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	20	83	54	38	69	51	9	112	37	9	43	13	22	79	57	6	106	45
	%	12.7	52.9	34.4	24.1	43.7	32.3	5.7	70.9	23.4	13.8	66.2	20.0	13.9	50.0	36.1	3.8	67.5	28.7
	DI	▲ 21.7			▲ 8.2			▲ 17.7			▲ 6.2			▲ 22.2			▲ 24.9		
建設業	実数	5	22	7	5	17	13	3	28	4	5	22	8	3	23	9	0	17	18
	%	14.7	64.7	20.6	14.3	48.6	37.1	8.6	80.0	11.4	14.3	62.9	22.9	8.6	65.7	25.7	0.0	48.6	51.4
	DI	▲ 5.9			▲ 22.8			▲ 2.8			▲ 8.6			▲ 17.1			▲ 51.4		
製造業	実数	6	18	7	9	17	5	0	24	7	4	21	5	5	17	9	1	24	6
	%	19.4	58.1	22.6	29.0	54.8	16.1	0.0	77.4	22.6	13.3	70.0	16.7	16.1	54.8	29.0	3.2	77.4	19.4
	DI	▲ 3.2			12.9			▲ 22.6			▲ 3.4			▲ 12.9			▲ 16.2		
卸売業	実数	2	13	16	6	13	12	1	18	12				3	11	17	1	25	5
	%	6.5	41.9	51.6	19.4	41.9	38.7	3.2	58.1	38.7				9.7	35.5	54.8	3.2	80.6	16.1
	DI	▲ 45.1			▲ 19.3			▲ 35.5						▲ 45.1			▲ 12.9		
小売業	実数	3	13	16	9	8	15	2	21	9				4	13	15	2	24	6
	%	9.4	40.6	50.0	28.1	25.0	46.9	6.3	65.6	28.1				12.5	40.6	46.9	6.3	75.0	18.8
	DI	▲ 40.6			▲ 18.8			▲ 21.8						▲ 34.4			▲ 12.5		
サービス業	実数	4	17	8	9	14	6	3	21	5				7	15	7	2	16	10
	%	13.8	58.6	27.6	31.0	48.3	20.7	10.3	72.4	17.2				24.1	51.7	24.1	7.1	57.1	35.7
	DI	▲ 13.8			10.3			▲ 6.9						0.0			▲ 28.6		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第1四半期：2022年4月～6月）

1. 今期の状況

業 種	項 目	業 況			売上額・完成工事額			資 金 繰 り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全 県	実数	20	85	54	44	52	63	11	113	34	14	36	15	22	70	66	7	99	51
	%	12.6	53.5	34.0	27.7	32.7	39.6	7.0	71.5	21.5	21.5	55.4	23.1	13.9	44.3	41.8	4.5	63.1	32.5
	DI	▲ 21.4			▲ 11.9			▲ 14.5			▲ 1.6			▲ 27.9			▲ 28.0		
秋 田	実数	9	37	19	22	19	24	7	45	13	6	15	6	11	34	20	3	36	25
	%	13.8	56.9	29.2	33.8	29.2	36.9	10.8	69.2	20.0	22.2	55.6	22.2	16.9	52.3	30.8	4.7	56.3	39.1
	DI	▲ 15.4			▲ 3.1			▲ 9.2			0.0			▲ 13.9			▲ 34.4		
大 館	実数	0	10	9	3	6	10	0	13	6	1	4	2	1	8	10	0	10	9
	%	0.0	52.6	47.4	15.8	31.6	52.6	0.0	68.4	31.6	14.3	57.1	28.6	5.3	42.1	52.6	0.0	52.6	47.4
	DI	▲ 47.4			▲ 36.8			▲ 31.6			▲ 14.3			▲ 47.3			▲ 47.4		
能 代	実数	2	10	3	3	6	6	1	11	3	2	5	1	2	7	6	1	11	3
	%	13.3	66.7	20.0	20.0	40.0	40.0	6.7	73.3	20.0	25.0	62.5	12.5	13.3	46.7	40.0	6.7	73.3	20.0
	DI	▲ 6.7			▲ 20.0			▲ 13.3			12.5			▲ 26.7			▲ 13.3		
大 曲	実数	3	12	5	8	8	4	1	18	1	3	4	0	4	10	5	1	13	6
	%	15.0	60.0	25.0	40.0	40.0	20.0	5.0	90.0	5.0	42.9	57.1	0.0	21.1	52.6	26.3	5.0	65.0	30.0
	DI	▲ 10.0			20.0			0.0			42.9			▲ 5.2			▲ 25.0		
横 手	実数	4	8	10	4	8	10	2	14	6	2	6	2	2	5	15	2	14	6
	%	18.2	36.4	45.5	18.2	36.4	45.5	9.1	63.6	27.3	20.0	60.0	20.0	9.1	22.7	68.2	9.1	63.6	27.3
	DI	▲ 27.3			▲ 27.3			▲ 18.2			0.0			▲ 59.1			▲ 18.2		
湯 沢	実数	2	8	8	4	5	9	0	12	5	0	2	4	2	6	10	0	15	2
	%	11.1	44.4	44.4	22.2	27.8	50.0	0.0	70.6	29.4	0.0	33.3	66.7	11.1	33.3	55.6	0.0	88.2	11.8
	DI	▲ 33.3			▲ 27.8			▲ 29.4			▲ 66.7			▲ 44.5			▲ 11.8		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第1四半期：2022年4月～6月）

2. 来期の見通し

業 種	項 目	業 況			売上額・完成工事額			資 金 繰 り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全 県	実数	20	83	54	38	69	51	9	112	37	9	43	13	22	79	57	6	106	45
	%	12.7	52.9	34.4	24.1	43.7	32.3	5.7	70.9	23.4	13.8	66.2	20.0	13.9	50.0	36.1	3.8	67.5	28.7
	DI	▲ 21.7			▲ 8.2			▲ 17.7			▲ 6.2			▲ 22.2			▲ 24.9		
秋 田	実数	7	36	21	14	30	20	2	49	13	4	18	6	7	36	21	2	42	19
	%	10.9	56.3	32.8	21.9	46.9	31.3	3.1	76.6	20.3	14.3	64.3	21.4	10.9	56.3	32.8	3.2	66.7	30.2
	DI	▲ 21.9			▲ 9.4			▲ 17.2			▲ 7.1			▲ 21.9			▲ 27.0		
大 館	実数	2	10	7	6	7	6	0	13	6	1	4	2	2	9	8	0	11	8
	%	10.5	52.6	36.8	31.6	36.8	31.6	0.0	68.4	31.6	14.3	57.1	28.6	10.5	47.4	42.1	0.0	57.9	42.1
	DI	▲ 26.3			0.0			▲ 31.6			▲ 14.3			▲ 31.6			▲ 42.1		
能 代	実数	2	10	3	3	7	5	1	12	2	0	7	1	2	10	3	2	9	4
	%	13.3	66.7	20.0	20.0	46.7	33.3	6.7	80.0	13.3	0.0	87.5	12.5	13.3	66.7	20.0	13.3	60.0	26.7
	DI	▲ 6.7			▲ 13.3			▲ 6.6			▲ 12.5			▲ 6.7			▲ 13.4		
大 曲	実数	4	10	5	7	9	4	1	16	3	2	5	0	5	10	5	1	12	7
	%	21.1	52.6	26.3	35.0	45.0	20.0	5.0	80.0	15.0	28.6	71.4	0.0	25.0	50.0	25.0	5.0	60.0	35.0
	DI	▲ 5.2			15.0			▲ 10.0			28.6			0.0			▲ 30.0		
横 手	実数	3	10	9	5	9	8	3	12	7	2	5	2	4	7	11	1	16	5
	%	13.6	45.5	40.9	22.7	40.9	36.4	13.6	54.5	31.8	22.2	55.6	22.2	18.2	31.8	50.0	4.5	72.7	22.7
	DI	▲ 27.3			▲ 13.7			▲ 18.2			0.0			▲ 31.8			▲ 18.2		
湯 沢	実数	2	7	9	3	7	8	2	10	6	0	4	2	2	7	9	0	16	2
	%	11.1	38.9	50.0	16.7	38.9	44.4	11.1	55.6	33.3	0.0	66.7	33.3	11.1	38.9	50.0	0.0	88.9	11.1
	DI	▲ 38.9			▲ 27.7			▲ 22.2			▲ 33.3			▲ 38.9			▲ 11.1		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

参 考

県内景況調査に対する各企業のコメント

I 今期の特徴（2022年4～6月）

1 建設業	
・受注もいくらか好転しているが、年後半も受注に励みたい【一般土木建築工事】	県央
・公共工事主体のため、官庁入札は例年並【一般土木建築工事】	
・前期からの工事が継続中【一般土木建築工事】	
・冬の工事の完成だったので採算は取れなかった【土木工事】	
・官民両方の工事が減少した【塗装工事】	
・新年度初めから受注増となったため、完成工事増にもつながった【一般電気工事業】	
・公共工事が多く、採算は良い【建設工事】	県北
・受注減による業況悪化【建築工事】	県南
2 製造業	
・経済活動が正常化に向かう中、人流の回復やイベントの再開により、飲食店での消費が増加に転じつつあるようだ。経済活動が一足早く正常化した海外への輸出は極めて好調である【清酒】	県央
・原料の不安定化及び資材等のコストアップにより売上減少【水産物】	
・前年が悪すぎた【婦人服】	
・スポット物や他も少しずつ増えつつあり【印刷】	
・原材料だけでなく、副資材やその他すべてについて経費増となっているが、原材料費以外の経費については、なかなか価格に転嫁できていない【金属製品】	
・資材・消耗品の高騰により、原価アップ、利益幅減【金属製品】	
3 卸売業	
・仕入価格の高騰で販売価格を上げたため、売上増になった【食肉】	県央
・値上げに伴う売上増、在庫負担増【食料品】	
・工事案件があり売上増加【家電】	
・売上はコロナ状況が落ち着いてきたことを機に好転の兆しが見える。採算については人手不足の中であるが、逆に人件費抑制につながっている【青果・水産物】	県北
・配合飼料価格の暴騰で業況悪化【鶏卵】	
・県外向けの売上が増加し、業況が好転した【珍味】	県南
・ロシアからの輸入商品が全く売れない【輸入雑貨】	
・仕入単価の大幅な上昇により、利益確保が難しくなっている【機械工具】	
4 小売業	
・スーパー等の卸売で特売をかけてもらい、多少売上は上向いたが、仕入はふくらんでしまった。仕入の支払は30日だが、客先は60日なのでつらい【茶】	県央
・半導体の供給不足に加え、新型コロナの影響により、サプライチェーンの混乱が続いている。部品供給不足から生産ラインの稼働停止等が発生。商品（新車）の出荷が減少し、新車販売が前年の約8割程度になったことから減収・減益を見込む【自動車】	
・コロナ禍においても堅調に推移している。仕入費の高止まりにより、徐々に収益が取りづらい状況になっている【生花】	県北
・あきた春割キャンペーンのおかげで売上を5%しか落とさずに済んだ【菓子】	
・コロナで客が飲み歩かない【酒類】	
・売上額が増加した。建築業界の好調に便乗できた感がある【塗料】	県南
・増収・減益【燃料】	
・仕入値の値上げが止まらず、売上が落ちている【金物】	
・3月で底を打ち、4月以降は人、物の流れも回復基調にある。5月は昨年対比で150%の売上実績となった【食料品】	

5 サービス業	
・予算が足りず注文個数を減らす顧客があり、売上減少【普通洗濯】	県央
・雪が多かったこともあり、5月まで発生した事故対応修理が続いたため、売上は多少上昇に転じた半面、中古車販売は前年並とはいかなかった【自動車一般整備業】	
・6月に入り、売上も増加しつつあるように思われる【ビルメンテナンス】	
・前年比で売上は増加したものの、コロナ禍前と比べれば依然として厳しい状況【運輸】	
・コロナがまだまだ影響している。大口の宴会はなし【食堂】	県北
・新規の受注があり、売上増加【測量設計】	
・4～5月にコロナ患者が増加し、業況悪化【写真館】	県南

Ⅱ 来期の見通し(2022年7～9月)

1 建設業	
・受注増を目指したい【一般土木建築工事】	県央
・入札工事は出るが、工事の材料の値上がりの予想がつかない状態【一般土木建築工事】	
・急に動きが出たが、人が追いつかない状況【木造建築工事】	
・前期からの継続工事は終了するが、新規物件の見込がまだない【一般土木建築工事】	
・資材の値上がりで少し厳しいと思う【土木工事】	
・今期と同様を見込む【塗装工事】	
・資材の高騰や調達時期のズレこみなど不安定要素はあるものの、平年並の業績を維持できる見通し【一般電気工事】	
・工事受注状況が良いため、業績も好転する見込【一般電気工事】	県北
・民間工事が主体で採算は悪い【建設工事】	
・従業員の数だけしか売上を上げられない。受注を断る状況は続く見通し【板金工事】	
・今期より完成工事額は少々増加するが、前年同期比では減少の見通し【建築工事】	県南

2 製造業	
・引き続き業務用の回復が期待されるが、ウイズコロナでの飲食様式の変化がどのように影響するか注目している。運賃やほぼすべての資材の価格高騰の影響が本格化するため断念を許さない【清酒】	県央
・原料の不安定な状況は続き、生産コストアップによる収益性の低下を見込む【水産物】	
・円安による国内生産回帰も見られるが、不透明なことには変わりなし【婦人服】	
・受注量は増加傾向になってきたが、経費の増加分を価格に転嫁できるまで利益率の上昇は難しいと思う【金属製品】	
・資材高騰・不足等により、事業見直しが発生、計画の見直し・中止等不安材料が多い【金属製品】	県北
・受注状況は昨年より順調であるが、材料全般の値上げの影響が大きい【機械器具】	
・10月1日より販売価格を値上げする【清酒】	
・販売価格は値上がりしており、当面利益は改善され、採算は好転の見込【コンクリート】	県南

3 卸売業	
・販売価格の上昇の影響がどうなるか不透明【食肉】	県央
・値上げに伴う売上増、廃棄等による利益額の減少の見通し【食料品】	
・各地域の祭やイベントの開催に期待する【雑貨】	
・今期に引き続き工事案件がある【家電】	
・電気代の高騰が気になるが、まずは景気浮揚のきっかけをつかんだので、流れに乗じて進めて行きたい。人員は適正であるが、社員の平均年齢が上がっているため、人材育成に力を入れる【青果・水産物】	県北
・公共工事の減少による売上減少を見込む【塗料】	
・今後も配合飼料価格の暴騰は続く【鶏卵】	
・消費者は何度も物価が上昇することで購買力が衰えている【清涼飲料】	
・今期と同様を見込む【機械工具】	県南

4 小 売 業	
・今年の夏は暑くなる予想で、そうなると我々の業界はアウト。ギフト商材も動きは鈍いだろうし、この2、3年が勝負かもしれない【茶】	県 央
・半導体不足やサプライチェーンの混乱等で部品供給不足となっている。生産ラインの稼働停止（減産）が今後も続くことが予想され、前年同期の新車販売台数を確保することは困難。引き続き減収・減益を見込む【自動車】	
・仕入の工夫により現状はキープできるものと予想する【生花】	県 北
・あきた春割キャンペーンが終了するので売上減少を見込む【菓子】	
・値上げ前の特需を見込む【タイヤ】	
・コロナが終息すると良くなる【酒類】	
・増収・減益を見込む【燃料】	県 南
・値上げの影響が心配である【金物】	
・夏祭りも開催の予定となり、昨年よりは上積みが見込める【食料品】	

5 サービス業	
・重油、商材の急激な値上がりを見込む【リネンサプライ業】	県 央
・今期と同様、注文個数の減少による売上減少を見込む【普通洗濯】	
・売上は増えると思うが、経費増も予想されるため、採算はあまり見込めない【ビルメンテナンス】	
・貸切バス需要は回復が見込めるが、高速バスは減便を継続しており、ウイズコロナでの需要増加に期待したい【運輸】	
・売上額は増加しても光熱費、材料費が全部上昇するため利益は出ないと思われる【食堂】	県 北
・前期の売上が増加すると後期の売上は悪化する見込【測量設計】	
・コロナ患者の増加が抑えられて悪化は免れると思われる【写真館】	県 南